

# ファースト・センチア インベスターズ

会社概要

2020年12月31日



ファースト・センチア・インベスターズのビジョンは、責任投資原則に則り、世界有数の運用会社として、お客様にソリューションを提供することです。

お客様、従業員、社会、株主をはじめとした、あらゆるステークホルダーのベネフィットのために、長期的かつ継続的な投資成果を達成することを目指します。



ファースト・センチアではスチュワードシップ精神のもとで、機関投資家と個人投資家の双方のお客様に代わって約18.2兆円の受託資産を運用しています。



ファースト・センチアではグローバルに展開する各拠点で900名を超える従業員が企業ビジョンを達成するための協働を実践しています。

## ファースト・センチアの サブ・ブランド



FSSA  
インベストメント  
マネージャーズ



スチュワート  
インベスターズ

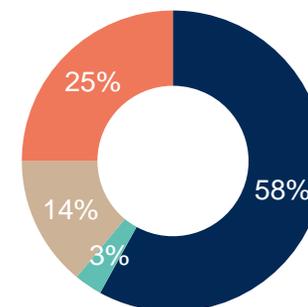


リアルインデックス



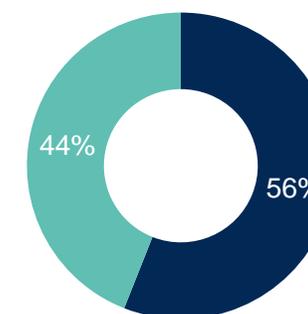
	従業員数	運用プロフェッショナル
英国、欧州、中東・アフリカ(EMEA)	376	72
アジア(日本含む)	159	38
オーストラリア、ニュージーランド	362	105
北アメリカ	41	22
<b>合計</b>	<b>938</b>	<b>237</b>

地域別受託残高



■ オーストラリア ■ 北アメリカ ■ アジア ■ EMEA

顧客属性別受託残高



■ 機関投資家 ■ ホールセール

# グローバル運用戦略

2020年12月31日時点

(単位:10億ドル)		豪ドル	米ドル
	<b>オーストラリア株式</b>		
	グロース	13.3	10.3
	小型株	3.1	2.4
	エマージング・カンパニー	0.9	0.7
	エクイティー・インカム	0.4	0.3
	<b>オーストラリア株式計</b>	<b>17.8</b>	<b>13.7</b>
	<b>FSSA インvestment・マネージャーズ</b>		
	アジア・パシフィック、エマージング グレーターチャイナ、インド、日本		
	<b>FSSA Investment・マネージャーズ計</b>	<b>45.7</b>	<b>35.3</b>
	<b>スチュワート・インベスターズ</b>		
	アジア・パシフィック、エマージング サステナビリティ、ワールドワイド		
	<b>スチュワート・インベスターズ計</b>	<b>30.6</b>	<b>23.6</b>
	<b>不動産、インフラストラクチャー</b>		
	グローバル上場不動産証券	2.0	1.6
	グローバル上場インフラストラクチャー株式	10.2	8.2
	非上場インフラストラクチャー**	13.5	10.4
	<b>リアル・アセット計</b>	<b>26.1</b>	<b>20.2</b>

(単位:10億ドル)		豪ドル	米ドル
	<b>債券</b>		
	エマージング債券、アジア債券	5.8	4.5
	グローバル債券	0.9	0.7
	グローバル・クレジット債券	1.7	1.3
	ハイ・イールド債券	0.2	0.2
	オーストラリア債券	14.0	10.8
	キャッシュ・マネジメント	56.2	43.4
	<b>債券計</b>	<b>78.8</b>	<b>60.8</b>
	<b>マルチ・アセット</b>		
	オブジェクティブ型運用 アドバイザー・サービス		
	<b>マルチ・アセット計*</b>	<b>7.6</b>	<b>5.8</b>
	<b>システムティック株式</b>		
	リアルインデックス システムティック株式計	29.2	22.6
	<b>運用残高計</b>	<b>228.9</b>	<b>176.6</b>

\* 49億米ドルはファースト・センチア・インベスターズの他の戦略に投資、\*\* 未ドローダウンのコミットメントは含まず

出所: ファースト・センチア・インベスターズ、2020年12月31日時点。

## 責任投資原則とスチュワードシップ精神は、すべての運用チーム、あらゆるビジネス戦略および企業カルチャーの中核

- 2013年に「スチュワードシップ原則」を全社的に策定、現在では「グローバル責任投資およびスチュワードシップ・ポリシーと原則」の一部となっています。
- 責任投資の専門チームによる会社横断的なサポート体制を採用しており、ESGインテグレーション・プロセスの支援や新たなESG課題に対する協働フォーラムの場を提供しています。
- ケンブリッジ大学インベストメント・リーダーズ・グループの創設メンバー\*

### 業界における先進的なレポート

- 運用チーム別の包括的なサマリー
- 130を超えるケース・スタディー
- 議決権行使に関する「ライブ」開示システム
- TCFD\*\* に準拠した気候変動関連の開示



### 国連の責任投資原則(PRI)における2020年レポート中で8項目中7項目で『A+』を獲得

- |                     |    |
|---------------------|----|
| • 戦略及びガバナンス         | A+ |
| • 非上場インフラストラクチャー    | A+ |
| • 債券 - SSA          | A  |
| • 上場株式 - ESGの統合     | A+ |
| • 債券 - コーポレート       | A+ |
| • 上場株式 - アクティブ・オーナー | A+ |
| • 債券 - コーポレート(非金融)  | A+ |
| • 債券 - 証券化          | A+ |

PRIによる評価基準等は以下ウェブサイト参照  
<https://www.unpri.org/report>

\* 当該インベストメント・リーダーズ・グループは、サステナビリティ・リーダーシップに向けたケンブリッジ・インスティテュートの中のひとつ

\*\* TCFD = 「気候関連財務情報開示タスクフォース」(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

# リーダーシップ・チーム



マーク・スタインバーグ  
CEO



リズ・ハスティロウ  
法務・リスク管理責任者  
マネージング・ディレクター  
(豪・ニュージーランド)



ハリー・ムーア  
グローバル・セールス責任者



クリス・ターピン  
グローバル経営企画・推進  
責任者  
マネージング・ディレクター  
(EMEA)



バシャー・ピアニ  
マネージング・ディレクター  
(米国)



川上 豊  
副CEO



ロブ・スコット  
COO



リンドール・ウェスト  
人事責任者



ペリー・クローセン  
グローバル CIO



マーティン・ラウ  
マネージング・パートナー  
FSSA インベストメント・  
マネージャーズ



マイケル・ステーブルトン  
マネージング・パートナー  
FSSA インベストメント・  
マネージャーズ  
マネージング・ディレクター (アジア)



スザンヌ・エバンズ  
CFO



グリゴア・ミルネ  
マネージング・パートナー  
スチュワード・インベスターズ



アマンダ・ティベット  
マーケティング責任者

ファースト・センチア・インベスターズは2019年8月をもって三菱UFJフィナンシャル・グループ傘下となりました。



## ファースト・センチアの サブ・ブランド



FSSA インベストメント・マネージャーズ



スチュワート・インベスターズ



リアルインデックス

# 主要運用戦略のご紹介



## オーストラリア株式市場で最大級かつ高い影響力を有するプレーヤーによる4つのアクティブ運用戦略

オーストラリア株式 グロス	アクティブ運用	高いクオリティーを有する成長企業にフォーカス、オーストラリアで最大かつ最も豊富な経験を有する株式運用チームのひとつであり、徹底した業界分析と強固な株式調査を通じて魅力的な投資機会を追求
オーストラリア株式 中小型株	アクティブ運用	小型株に広く存在する付加価値獲得の機会を追求、加えて、あらゆる市場環境のもとでそれを目指すというチャレンジングな運用 投資アプローチは型にはまったスタイル・バイアスとは一線を画しており、個別銘柄レベルでのダウンサイド・リスクにフォーカス
エクイティー・インカム	アクティブ運用	オーストラリア株式市場において効率的なオプションを活用、ボラティリティーを抑制し、インカムの獲得によるトータル・リターンを最大化を目指す運用
エマージング・カンパニー	アクティブ運用	リスク・リターン特性を重視、企業の経営陣との強固なリレーションシップを通じて、長期的な成長性を秘める企業を発掘、徹底したバリュエーション評価にも強み

FSSAインベストメント・マネージャーズは、アジア・パシフィックおよびエマージング株式運用のスペシャリスト

投資アプローチは、質の高い企業を見極め、適切なバリュエーションで投資、長期保有を行うスタイル

## 投資アプローチ

- ファンダメンタル調査・分析によるボトムアップ・アプローチのもとで、確信度の高いポートフォリオを構築
- 責任ある長期株主として、運用プロセスに徹底したESGインテグレーションを実施
- 年間1,000件超の企業ミーティングを実施、魅力的な投資機会を発掘すべく徹底したデューデリジエンスを実施\*
- 運用戦略については、地域戦略およびシングル・カントリー戦略の双方をカバー、大型株から小型株まであらゆる投資アイデアを実践
- 独自のカルチャーとチーム構成によって、運用チームの組織安定性を担保、アナリストの半数が新卒採用、ポートフォリオ・マネージャーの大半はFSSAが主要キャリアを占める



チーム創設  
1988年



チーム人数  
21名



運用拠点  
香港、シンガポール  
東京、エジンバラ

\* 2020年は新型コロナ・ウイルスの感染状況により、バーチャル・ミーティングでの実施

投資哲学は責任あるスチュワードとしての理念に立脚  
資産運用という仕事は、お客様から預かった資産を、  
質の高い企業、すなわち、強固な経営陣と健全かつ  
長期的な成長が期待できる企業に託すことである、と  
確信



チーム創設  
1988年



チーム人数  
23名



運用拠点  
エジンバラ、ロンドン  
シンガポール、シドニー

## 投資アプローチ: 1988年から一貫した哲学・プロセス

- スチュワードシップ
- 絶対リターン志向
- ボトムアップ調査
- 質の高い企業への選別投資
- 再現性を有しかつ予測可能な成長
- 長期的な視点

### アジア・パシフィック

アジア・パシフィック・サステナビリティ  
アジア・パシフィック・リーダーズ・サステナビリティ  
アジア・パシフィック及び日本サステナビリティ  
インド亜大陸サステナビリティ

### ワールドワイド

ワールドワイド・オールキャップ・サステナビリティ  
ワールドワイド・リーダーズ・サステナビリティ

### エマージング

エマージング・オールキャップ  
エマージング・リーダーズ、プラス  
エマージング・サステナビリティ  
エマージング・サステナビリティ・リーダーズ  
ラテン・アメリカ、フロンティア

強固な資産成長およびインフレ耐性に優れたインカムの創出を目指す運用戦略

グローバルに分散されたインフラ株式ポートフォリオ(輸送、公益、エネルギー、通信インフラ等)

- 金融市場とインフラストラクチャー業界における深い経験を有するスペシャリスト運用チームであり、高い安定性を有するチーム
- 長期的な成長を達成するためには、資産の保全を強く意識することが極めて重要
- ミスプライスの状況にある質の高い企業にフォーカス
- 運用チーム独自の調査、徹底した現地デューデリジエンスが、投資アイデアの創出とリスク・マネジメントにとって最も重要
- 広範な市場サイクルを通じた強固な絶対および相対リターンの獲得を目指す



チーム創設  
2007年



チーム人数  
8名



運用拠点  
シドニー

不動産株式への分散投資を通じた安定インカムの創出および長期的な資産の成長を目指す運用戦略

不動産市場におけるミスプライスについて、多面的な調査・分析通じて確信度を醸成するアクティブ運用スタイル

- 不動産証券のリターンは、ローカルの不動産ファンダメンタルと広範な資本市場の状況の双方によって形成されるといった考え方に立脚
- 不動産におけるローカル性から生じる地域間の低相関に着目することで、超過収益の獲得と効率的な資産アロケーションを目指す
- 実地調査は銘柄選択に不可欠、経験豊富な不動産エキスパートを世界の主要不動産マーケットに擁する
- 規律と一貫性の双方を兼ね備えた運用プロセスのもとで、株式のファンダメンタルズ、バリュエーション。絶対および相対的なリスクを捕捉
- 強固なパフォーマンス実績



チーム創設  
1999年



チーム人数  
11名



運用拠点  
シドニー、ロンドン  
ニューヨーク

アクティブなアセットマネジメントを通じ、長期的に予測可能なインカムと資産価値の拡大を目指す

- 1994年より、機関投資家のお客様に代わってインフラ・アセットに投資を行い、アクティブな関与のもとでアセットを運営
- 過去20年超において50件超のインフラ・アセットを買収、多様な地域、業種、投資ケース
- グローバルで27件のインフラ・アセットを運用（詳細は次ページ）
- ヨーロッパ戦略とグローバル戦略の2戦略を提供
- 経験豊富なシニア・チーム、外部シニア・アドバイザー、インフラ投資スペシャリストから成るプロフェッショナル運用チーム



チーム創設  
1994年



チーム人数  
65名



運用拠点  
シドニー、ロンドン  
ニューヨーク

# 非上場インフラストラクチャー（保有アセット一覧）

## 大陸ヨーロッパ

- |               |           |
|---------------|-----------|
| ① カルナ         | 送電網       |
| ② フェルンガス      | ガス供給網     |
| ③ フィナージュ      | 代替エネルギー   |
| ④ コリアンス       | 熱供給網      |
| ⑤ フォーシー       | フェリー航路    |
| ⑥ パルキア        | 駐車場       |
| ⑦ ノーディオン・エナジー | ガス供給網     |
| ⑧ スカンドライン     | フェリー航路    |
| ⑨ ユーティリタス     | 熱供給網      |
| ⑩ OLT         | LNG 再気化設備 |
| ⑪ Evos        | 石油貯蔵      |
| ⑫ MVVエナジー     | 代替エネルギー   |



## オーストラリア、ニュージーランド

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| ① プリズベン空港                  | 空港      |
| ② IPGグループ                  | 駐車場     |
| ③ アデレード空港                  | 空港      |
| ④ ウォーター・ユーティリティ<br>オーストラリア | 水道      |
| ⑤ クアンタム                    | バルク液体貯蔵 |
| ⑥ ファーストガス                  | ガス供給網   |
| ⑦ CPERI                    | 代替エネルギー |
| ⑧ ウルトラファースト・ファイバー          | 通信網     |
| ⑨ ジョン・ライン                  | 代替エネルギー |



## 英国・アイルランド

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| ① アングリアン・ウォーター  | 上下水道    |
| ② ナビゲーター・ターミナル  | バルク液体貯蔵 |
| ③ マルチフューエル・エナジー | 再生エネルギー |



## 米国

\*本社は 緑 表示

- |           |         |
|-----------|---------|
| ① パトリオット  | 鉄道、港湾   |
| ● 鉄道拠点    |         |
| ● 鉄道サービス  |         |
| ● 港湾ターミナル |         |
| ② リアルト    | 代替エネルギー |
| ③ テラ・ジェン  | 代替エネルギー |



それぞれ独立した運用チームが、価値を共有、グローバルに協働することで『ビッグ・ワン・チーム』を形成

お客様の投資目標に合致するグローバル債券運用ソリューションをテーラード型で提供することが可能

債券運用分野の各カテゴリにおけるワールド・クラスのスペシャリスト運用チームの集合体

- オーストラリア、アジア、ヨーロッパ、米国に運用拠点を置くグローバル運用体制
- 各運用チームはそれぞれ独立した運用プロセスを有しており、優れたリスク調整後リターンの獲得を目指す
- クレジット・リサーチおよび分析においてはESG要素を運用プロセスに統合
- 独自の内製システムであるION(インベストメント・オピニオン・ネットワーク)のもとでコラボレーション、透明性、リサーチ重視のカルチャーを醸成、各運用チームのスキル、優れた投資アイデアの共有を実践

---

キャッシュ・短期運用

オーストラリア債券

グローバル・クレジット債券

エマージング債券、アジア債券

グローバル債券

ハイ・イールド債券

---

フレキシブルかつダイナミックなアセット・アロケーションを用いたアプローチにより、マーケット・コンディションの趨勢を捕捉、目標ベースの投資を実践

中核となる運用スキルとして、「アセット・アロケーション」、ALM、ポートフォリオ・デザイン、リスク・マネジメントに強み

- お客様と共に設定したリターン目標を継続的に達成することを究極的なゴールとする投資判断
- これまでに実証された運用プロセスのもとで、お客様と設定した目標が達成できない可能性を最小化
- 定量的な独自の内製ツールと定性的なスキルが融合した規律ある判断
- 伝統的なアセット・アロケーションからベンチマーク・アンコンストレインド、絶対リターン戦略といった多様なニーズに対応可能な戦略ラインナップ
- 一見すると相反するようなお客様の目指す目標を多面的な視点で検証・融合させ、期待とリスクの双方においてお客様の目標に合致するソリューションを見出すスキル



チーム創設  
1995年



チーム人数  
10名



運用拠点  
シドニー、シンガポール  
ロンドン

リアルインデックス運用では、市場は完全に効率的であるとは考えておらず、アノマリーやミスプライスが存在し、システム運用によってそれらを捕捉することが可能

- お客様とのパートナーシップに基づくシステムティック運用ソリューションを通じて、市場のアノマリーを捕捉しベンチマーク・インデックスに対する付加価値と超過収益の獲得を目指す
- 経験豊富かつ長期のトラックレコードを有し、多様なスキルとバックグラウンドを有する運用チームによるシステムティック株式運用戦略であり、グローバル株式(大型・小型)、エマージング株式、オーストラリア株式(大型・小型)等の戦略ラインナップ
- お客様とのパートナーシップのもとでソリューションを提供することにフォーカス
- 高いカスタマイズのスキルによって、サステナビリティ、ESG、カーボン、コスト、回転率、税制といった要素を把握しシステムに統合
- リサーチとポートフォリオ・マネジメントの両チームの協働により、学術面と実践面の双方からの調査・投資アイデアがポートフォリオに反映
- 専属のクライアント・サービスによるお客様との高いアラインメントに基づく運用



チーム創設  
2008年

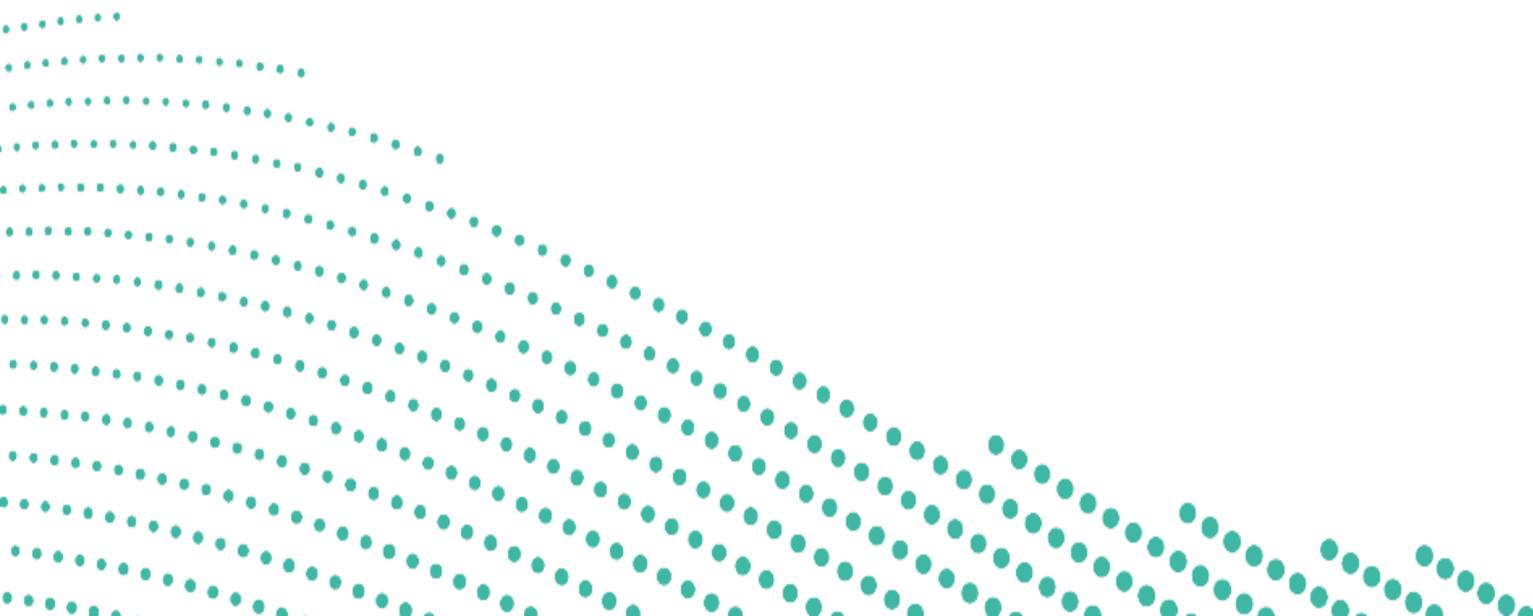


チーム人数  
14名



運用拠点  
シドニー

# 參考資料



## 強固かつ協力的なオーナーシップのもとで、運用チームの自治権と将来の成長に向けた基盤を獲得

### 三菱UFJフィナンシャル・グループ – 強固かつ協力的なオーナー

ファースト・センチア・インベスターズは、2019年8月に三菱UFJフィナンシャル・グループである三菱UFJ信託銀行の傘下に

三菱UFJフィナンシャル・グループは世界有数のグローバル資産運用会社であり、主に日本において資産運用事業を展開

ファースト・センチア・インベスターズが傘下に入ることにより、三菱UFJフィナンシャル・グループはアジア・パシフィック地域における最大規模の運用会社のひとつに



### 運用チームについては完全な自治権を担保

運用チームは、投資哲学、運用プロセス、運用キャパシティに関する決定権を有しており、これがファースト・センチア・インベスターズの成長と運用成果の達成のための重要な特徴



### 独自ブランドによる事業展開

ファースト・センチア・インベスターズは、三菱UFJフィナンシャル・グループにおいて独自のブランドのもとで事業展開

ファースト・センチア・インベスターズは、ファースト・センチア・インベスターズ、三菱UFJフィナンシャル・グループおよび社外メンバーで組成するボード・ガバナンスによって運営



### 強固な財務基盤と成長に向けた戦略的サポート

三菱UFJフィナンシャル・グループのオーナーシップにより、強固な財務基盤と長期的な戦略面のサポートのもとで、ファースト・センチア・インベスターズは引き続きグローバル成長を目指す



# ファースト・センティア・インベスターズのボード・メンバー



**横川 直 (会長)**

三菱UFJ信託銀行  
取締役副社長執行役員



**川上 豊**

ファースト・センティア・インベスターズ  
副CEO



**スージー・リップンガール**

社外取締役



**マーク・スタインバーグ**

ファースト・センティア・インベスターズ  
CEO



**ミシェル・トレデニク**

社外取締役



**スザンヌ・エバンズ**

ファースト・センティア・インベスターズ  
CFO



**二木 健匡**

三菱UFJ信託銀行  
執行役員経営企画部長



**リチャード・ワストコート**

社外取締役

# ファースト・センティアの歴史

グローバルな成長と多様化を遂げてきた30年

1988

ファーストステート・ファンド・マネージャーズ設立(ニューサウスウェールズ州立銀行の子会社)

2000

コロニアル・グループがスチュワート・アイボリーを買収

オーストラリア・コモウェルス銀行がコロニアル・グループを買収

2006

コロニアル・グループが運用会社(コロニアル・ファーストステート・グローバル・アセットマネジメント及びファーストステート・インベストメンツ)と投信設定会社であるコロニアル・ファーストステートに事業分離

2008

CFSGAM/FSIがリアルインデックスの50%持分を取得

2015

ファーストステート・スチュワートをファーストステート・スチュワート・アジアとスチュワート・インベスターズの独立した運用チームに改組

2019

ファーストステート・スチュワート・アジアがFSSAインベストメント・マネージャーズにブランド変更

CFSGAM及びファーストステート・インベストメンツが三菱UFJ信託銀行の傘下に

コロニアル・ファーストステート・グローバル・アセットマネジメントがファースト・センティア・インベスターズにブランド変更

1994

コロニアル・ミューチャルがファーストステート・ファンド・マネージャーズを買収し、コロニアル・グループに

2001

コロニアル・グループの英国及びアジア部門がファーストステート・インベストメンツにブランド変更

2007

コロニアル・ファーストステート・グローバル・アセットマネジメント及びファーストステート・インベストメンツが国連の責任投資原則(PRI)に署名

2013/14

コロニアル・ファーストステート・グローバル・アセットマネジメント(CFSGAM)及びファーストステート・インベストメンツがグローバル・スチュワードシップ原則を策定

コロニアル・ファーストステート・グローバル・アセットマネジメントが直接不動産部門を売却

2017

リアルインデックスの持分を完全取得

2020

ファーストステート・インベストメンツがファースト・センティア・インベスターズにブランド変更

- 当資料は2020年12月31日時点におけるファースト・センチア・インベスターズについてまとめたものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は、ファースト・センチア・インベスターズに関する要約であり、投資家に対して何らかの投資判断アドバイスを提供する目的を持って作成されたものではありません。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ファースト・センチア・インベスターズによる許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮下さい。